

平成 21 年度 第 2 回 佐世保市図書館協議会 会議録

1. 日 時 平成 22 年 3 月 24 日 (水) 午後 1 時 30 分～
2. 場 所 佐世保市立図書館 4 階 A 会議室
3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数 5 名) (出席 3 名)
  - ・社会教育関係者 小西 宗十
  - ・社会教育関係者 迎 純子
  - ・学識経験者 原口 孟士○図書館職員 (出席 4 名)
  - ・図書館長 渡辺 恵美
  - ・図書館第一係長 豊里 恵子
  - ・館長補佐 宮本 純夫
  - ・図書第二係主査 小牧 誠

4. 館長挨拶

[事務局]: 佐世保市子ども読書活動推進計画が、昨日、定例教育委員会で素案の了承をいただいた。その報告をするとともに、第一回図書館協議会の折、委員の方に子ども読書郵便を選考していただいた分について、県からの結果を追加議案として説明を行いたい。また、本日はご忌憚のない意見を賜りたい。

5. 事務局説明より欠席委員の理由説明

6. 説明と質疑

(1) 平成 22 年度事業及び予算の概要説明について

(図書館長から平成 22 年度予算の前年度との比較増減の説明。会議資料 1 参照。)

金曜日の夜間に加え、22 年度 6 月から 12 月までの間、木曜日に試行として夜間開館を行うことになる。それに伴い、電気代 30 万、館内案内巡視 29 万 3 千円。合計 59 万 3 千円の増を見込む。

金曜の夜間開館については、職員が時間外で対応しているが、木曜日は職員が交代制で出勤を行うことで対応するため、人件費の増の予算計上はない。木曜日の夜間開館は 12 月で一旦終了し、試行期間の利用状況や費用対効果を検証する。

新規事業としては、佐世保市小字地図作成と、移動図書館車購入費。

佐世保市小字地図は昭和 51 年に刊行しているが、旧佐世保村の記載が括愛されており、その後の調査研究に伴い多くの修正が発見されている。さらに、近年の市町村合併などに伴い新たな地域の掲載が求められていることから、新たな発行を行う。

移動図書館車購入費は、はまゆう号の老朽化に伴い、移動図書館車の入替を行う。他の予算については、例年通り確保できた。

[B 委員]: 今の内容について、何かご質問、ご指摘はありますか。

[B 委員]: 小字地図作成というのは、単年度か。

[事務局]: 昭和 51 年に刊行している。

[B 委員]: これは内部での作業か。それとも、どこかに依頼しているのか。

[事務局]：図書館に郷土研究所を設置しており、そこの先生方に委嘱をし、かなり細かい作業を必要とし、平成17年度から手掛けている。それが、大体まとまってきたので冊子の刊行を行う。

[B委員]：この市史編さん事業は、エンドレスな事業なのか。

[事務局]：すでに、平成14年の100周年の資料は、ほとんどデジタル化は済んでいるが、合併が延びたため、江迎・鹿町の郷土資料、行政資料のデジタル化、データベース化がある。また、以前のデータベース化が済んでいない物もあるので、しばらくはかかるのではないかと思う。

[B委員]：図書購入費というのは、図書資料費のことか。

[事務局]：いわゆる本代、CD代など。厳しい予算枠が決められたなかで、新規事業などについては確保できたと思っている。

[B委員]：他には、質問などがないということで、次に第2議案について、事務局の説明をお願いします。

### (2) 答申における要望の進捗状況について

(図書館長から答申における要望の進捗状況についての説明。資料2・3参照。)

[B委員]：いつの答申分か。

[事務局]：平成21年1月に頂いた分です。

[B委員]：この件について、質問はありますか。

[A委員]：事務補助の受入にコーティングや修理があるが、修理などをするボランティアの養成講座をする予定はないのか。

[事務局]：今はないが、そのような講座を検討する。

[A委員]：素人作業ではなく、傷んだ本を修理する方法を学べれば参加者はいるのではと思うが。

[B委員]：選書をする際に利用者からの要望もあるのか。

[事務局]：リクエストカードを受付し、利用者が限られるような高価な物以外は、希望に沿うようにしている。

[A委員]：ボランティアが増えているようですね。

[事務局]：増えている。大変、真面目に取り組んでもらっている。

[B委員]：ボランティアの出勤時間は自由なのか。

[事務局]：都合の良い時に来てもらっている。ボランティア保険に加入するので、一年一年の更新としている。

[A委員]：土日でも男性の利用者が多いようですね。

[事務局]：毎日、本館では1300人位の来館者がいる。

[B委員]：この方向で頑張ってもらいたい。

### (3) その他

(図書館長より、佐世保市子ども読書活動推進計画素案についての説明)

定例教育委員会です承をいただいた。名称は読書大好き佐世保っ子プランと決定した。

2月に11名の方から29件ものパブリックコメントをいただき、関心の高さが伺える。要望については、計画に取り込めるものは素案に盛り込んでいる。第1回の素案からは書き込みも増えているので、説明を行ないたい。

素案12ページの図書館の現状では、少子化もあるが、ヤングアダルトという中高生を対象にしたサービスが不十分だったのでないかと思っている。

現在、学校教育課が学校司書を4名8校を配置しているが、22年度は14名28校の配置となる。学校等支援担当司書の配置については、来年度努力をしたい。

地区公民館図書室との連携では、図書室の配架や選書をアドバイスしたい。

(子ども読書郵便についての説明)

前回の図書館協議会で選考いただいた作品から、25点を県立図書館に送付し、4点が入選となった。県内全体では401点の応募があり、42点が選ばれた。当館では応募全点の99点を三階のロビーに貼り出している。

来年度以降も、選考のご協力をいただきたい。

[B 委員]：何かご質問はありますか。

[B 委員]：素案は図書館だけで作成したのか。

[事務局]：事務局は社会教育課。その他図書館、学校教育課、子ども未来部でワーキングチームを作り、図書館協議会、社会教育委員の会議などにかけてながら作成。

[A 委員]：この前の読み聞かせのボランティア講座の事があったので、港小学校の保護者の方に参加の有無を尋ねたら、講座について知らないと言われた。学校側から保護者に向けての広報がないようで、横のつながりが足りないのではないかと思った。

[事務局]：講座の申込みは、希望者が多いため、広報をどこまで広げるのか難しい。今回も、定員30名で42名の応募があり、定員を切らずに行った。

[A 委員]：単発の講座をしているのか。

[事務局]：対象をもっと絞った方がいいのかもしれないが、今回は初心者向けの講座。その前はもう少し経験者を対象とした。

[A 委員]：子どもへの読み聞かせが出来る経験者を増やすためにも、もう少し何回かに分けて実施した方がいいのではないか。

[事務局]：申込者は多く、昨年2回続けて、落とす人もいた。

[A 委員]：自分が申込みを行う時に、用紙を直接、図書館まで取りに来る手間がかかった。そのため、申込みの手間がかかるため、参加者が少ないと思っていた。

[事務局]：FAXで受付は行ったが、用紙はインターネットか窓口にしかなかった。例えば地区公民館での用紙配布をすると、参加希望者が多くなり対応が難しくなることも考えられる。

[A 委員]：こういう講座は、ぜひ実践している方に受けてもらえたらと思う。

[C 委員]：子ども読書活動推進計画素案の17ページで、重点施策で地区公民館図書室があげられているが、図書館から、児童書を購入するなどの指導はあるのか。

[事務局]：地区公民館の実情はそれぞれ異なるので、一方的な選書というより、どういう本を購入したらいいかわからない場合は助言はする。

現在、早岐、相浦、世知原、宇久地区公民館に図書館の分館があるが、図書館の管轄ではない。

以前は、正規職員がいたが、今はそこそこの嘱託職員の採用となり、選書も嘱託が行うようになっている。

[C 委員]：早岐、相浦は分館だったが、その後、公民館に移ったからですね。

[B 委員]：予算も、公民館に任せているのか。

[事務局]：大きい四地区公民館は、図書館で図書費の予算を管理して、使える額だけ提示しているが、選書は任せている。他の地区公民館は、その公民館に予算が小額ついているが、選書するほどではない。図書室の本はボロボロで、夏休みの課題図書を購入して、貸出を行う位で、図書室の機能は果たせていない状態である。

[B 委員]：図書以外で、公民館を子ども達が利用するのか。

[C 委員]：行事を行えば、子ども達も集まるが、それ以外はない。

[事務局]：児童センターが併設されていなければ、子ども達は難しい。

地区公民館では、部屋にカーテンがなかったりして、本の背表紙が焼けてしまい、ボロボロになったが、どれを捨てていいのかも分からないなどの意見もあった。もし、要望があれば、図書館員が出向いてもいい。

[C 委員]：確かに、公民館に高校生がたむろしていたりするようだ。

[A 委員]：早岐は常に開いているが、相浦は昼は閉まっているため、利用者には不便だと感じた。

山澄地区公民館もきれいな図書室だが、開放されていない。中高校の勉強するところとして利用したほうがいいのではないかと思った。

[事務局]：メリハリをつけた予算や、図書室の統廃合など充実させていくべきではないかとの意見もある。

[C 委員]：公民館の図書室の99%は地区住民からの寄贈。だから、古い本が多く、読みたい物はないため結局、図書館に行くしかない。

[A 委員]：早岐のように、そこそこの地区公民館とも本をやりとり出来ればいいと思う。

[事務局]：平成6年に新館がオープンした際に、地域が広いため、分館を増やすという答申があったが、頓挫している状態である。出来れば、あと一つ二つ地区公民館図書室との連携が出来ればよいとは思いますが。

[A 委員]：はまゆう号が全ての地区公民館を廻ればいいのだろうが。

[事務局]：合併後は、江迎町には行けるのだが、鹿町町までは日程的に無理なため、今年は巡回しない。

[B 委員]：他に何かご意見はありますか。

[事務局]：図書館カレンダーを配っていますが、月末休館にあたる8月31日は夏休みのため開館し、9月1日を図書整理日として休館とする。また、蔵書点検は通常6月だが、視聴覚機器の入替と共に行うため、9月に実施する。

[B 委員]：他に何かなければ、閉会とします。

[事務局]：平成22度図書館協議会の日程についてですが、第1回10月頃、第2回は2月頃の開催を予定しており、詳細は後日ご連絡したい。